

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	1274	(H.29)No.	1274
-----------	------	-----------	------

事務事業名	オオサンショウウオ緊急調査事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	宮前 浩幸	

会計区分	事業コード	504105
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	史跡等整備事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 文化振興費	オオサンショウウオ緊急調査事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	1	文化振興
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
指定文化財の良好な保護を行います。
事業内容
国の特別天然記念物であるオオサンショウウオは、全国的に日本固有種が激減し、中国産との交雑が急速に進んでいる状況になっています。これを受け市内の滝川流域での生息状況についても確認をするため、緊急でDNA個別識別調査を行います。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)							
主な事業の実績・計画	調査、緊急連絡等で保護したのべ103個体のうち新規の81個体についてDNA鑑定を実施しました。 従来からの個体を含め、交雑種169個体のプール飼育を継続して行なっています。	滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオは、全国的に日本固有種が激減し、中国産との交雑が急速に進んでいる状況になっています。これを受け市内の滝川流域での生息状況についても確認をするため、緊急でDNA個別識別調査を行います。						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>H.31年度(事業計画)</th> <th>H.32年度(事業計画)</th> <th>H.33年度(事業計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。</td> <td>滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。</td> <td>滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。</td> </tr> </tbody> </table>	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)	滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。	滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。	滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。
H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)							
滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。	滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。	滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のプール飼育を継続します。							

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		2,799千円		2,720千円	2,760千円	2,800千円	2,800千円
内訳(千円)							
国・県支出金		1,589		1,550	1,573	1,596	1,596
地方債							
その他( )							
一般財源	0	1,210	0	1,170	1,187	1,204	1,204
人工数							
職員		0.10人		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等		0.50人		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人
②概算人件費	0千円	1,640千円	0千円	1,640千円	1,640千円	1,640千円	1,640千円
①+②総事業費	0千円	4,439千円	0千円	4,360千円	4,400千円	4,440千円	4,440千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
特別天然記念物の日本在来種のオオサンショウウオは、近年、外来種であるチュウゴクオオサンショウウオとの競合及び交配により、個体数が激減しています。その交雑種の除去については自然界から隔離する方法を取り、現在、旧錦生小学校のプールにて169匹、館内では幼生を約40匹飼育しています。これらの交雑種は、自由に見学していただけるよう公開しており、エサやり体験会も開催しました。また、小学校の授業や地域イベント等への出張にも積極的に取り組みました。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
平成30年度以降も、国・県の補助金を受け、DNA個別識別調査を実施し、オオサンショウウオの保護に努める必要があります。プールで飼育している交雑種は、観察会、学校授業やイベント等への出張など、教材資源として引き続き活用を図ります。また、観光部局とも連携し、地球規模で貴重であるこの地域資源を最大限生かせるよう取組を進めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画